

第45回全国障害者技能競技大会
<119> ネイル施術 事前公表課題

1 競技内容

作品は、課題1～2の2種類とする。

(1) 課題1：『ネイルケアとカラーリング』

前半：【ネイルケア】(両手) 爪の長さや形を整え、表面を滑らかにし、甘皮の処理を行います。
ネイルサービスの基本となるケアで、健康で美しい爪と指先を育むための正確な技術力と仕上がりで競います。

後半：【カラーリング】(両手) (右手：ネイルポリッシュ / 左手：ジェルカラーリング)

2種類の素材のカラーリングを行います。カラーリングの基礎であるネイルポリッシュとサロンサービスの主流であるジェルカラーリングで、材料に合わせた技術テクニック、正確な技術力、トータルバランスと仕上がりの美しさで競います。

- 片手(モデルの右手5本) カラーリング：ポリッシュ(赤)
- 片手(モデルの左手5本) カラーリング：ジェル(オリエンテーション時に配布)

(2) 課題2：『ネイルアート』 テーマ：地球と自然 (Earth & Nature)

テーマに合わせたネイルデザインをネイルチップに施し、創造力とアート技術を競います。

- 私たちが住む美しい地球や自然をテーマとしたアート作品
- 多様な尊いいのち(海や森、動物、花、人、環境など)をテーマとするアート作品
- サステナブル(持続可能)意識を啓蒙(けいもう)するようなアート作品

など

2 競技時間

【課題1：75分】

・前半ネイルケア：30分

手指消毒からスタートし、両手ウォーターケアを利用したキューティクルケアを行う。

爪の表面は、後半のカラーリング内容に応じた準備としてそれぞれバッフィング(右手)とサンディング(左手)まで行う。

・後半カラーリング：４５分

モデルの両手にそれぞれ決められた手に２種類のカラーリング（ポリッシュとジェル）を行う。

【競技課題２：８０分：ネイルチップ５本】

- ・ポリッシュやジェル製品などを使用する。
- ・ネイルアートを効果的に表現する目的で、アクリル絵の具、ストーン、ホログラム、ラメ、ミラーパウダーなど、ネイルの商材であれば使用は可とする。（市販されているネイルシールや既にデザインされた装飾品、パーツ類の使用は不可。）
- ・ネイルチップの加工は、時間内であれば可能とする。
- ・爪につけられるアート作品であること。（トレーニングハンドの爪に装着可能な作品であること。）
- ・立体的なパーツをその場で作成し装飾する事は可とする。

３ 提出方法

課題１：参加者からの申し出及び競技時間終了の合図で競技終了とし、モデルへの施術をもって提出とする。

課題２：作品は、競技会場側で用意したトレーニングハンド（右手）に装着した状態で提出とする。

４ 禁止事項

- （１）競技時間中にスタッフ以外から指導や助言を受けてはならない。
- （２）他の選手やスタッフの妨害をしてはならない。
- （３）競技時間に遅刻すること及び競技時間中に許可なく席を離れてはならない。
- （４）定められた競技時間・競技エリア以外で課題を実施してはならない。
- （５）競技時間中に、付添人が競技エリアへ入場してはならない。

５ 注意事項

- （１）使用機材に不具合が発生した場合は、スタッフに報告し、指示に従うこと。
- （２）作品が完成したらスタッフに申し出ること。
- （３）会場での座席位置は、予めスタッフが決定する。
- （４）メモ、デッサン画、参考書、その他の資料等の持込みは一切不可とする。

（注１）補助具等（書見台等）の導入が必要な場合は、事前に事務局に申し出ること。それらは原則として、参加者自身が持参し、事前にスタッフの立ち会いのもとで導入すること。ただし、導入に関して不具合があっても特別な配慮は行わないこと。

6 競技会場に準備してあるもの

No.	機材名称	仕様
1	作業台	W1800×D450×H700 (内高 640)程度
2	選手用電気スタンド	クランプ式蛍光灯：100V 40W
3	電源コンセント（各 2 口）	ジェルネイルランプ用・電気スタンド用
4	完成作品保管・展示用長机	W1800×450×700 程度
5	長机用テーブルクロス	白色、ビニール製
6	椅子	背もたれ付
7	ごみ袋（小）	4 5 L 1 枚
8	エタノール	消毒用エタノール 1 本
9	ポリッシュリムーバー（予備用）	ポリッシュリムーバー
1 0	トレーニングハンド（片手・右手）	ネイルアート作品提出で使用するもの
1 1	ネイルチップ	アート競技で使用（競技前日に配布）
1 2	ネイルチップシール（両面テープ）	競技前日または、当日配布
1 3	チップスタンド（予備用）	ご自身の持参したものを使用してもよい
1 4	ジェルカラー（第 1 課題で使用）	カラーリングで使用（競技前日に配布）
1 5	選手作業テーブル用のごみ袋	A4 サイズのゴミ袋 選手人数分用意

7 競技者が持参するもの

No.	機材名称	仕様
1	手指・器具用消毒液	消毒液（メーカーや形状は問わない）
2	コットン	ネイルコット 手指消毒等で使用
3	コットン容器	コットンワイプケース（形状は問わない）
4	ウェットステライザー	消毒用タンブラーなど
5	メンダ（容器）	メンダポンプ（必要に応じて）
6	ベースコート（ポリッシュ）	ベースコート（メーカーや形状は問わない）
7	トップコート（ポリッシュ）	トップコート（メーカーや形状は問わない）
8	ポリッシュカラー（マット赤）	カラー（メーカーや形状は問わない）

9	ベースジェル（ジェル）	ジェルベースコート（メーカーや形状は問わない）
10	トップジェル（ジェル）	ジェルトップコート（メーカーや形状は問わない）
11	ジェル用筆	ジェル筆（アート・ジェルカラー塗布などで使用）
12	ジェルネイル用ランプ	メーカーは問わない（LED カラージェルに対応した36Wクラスのランプが望ましい）
13	爪用消毒剤	カラーリング前に爪消毒で使用（メーカーは問わない）
14	ワイプ類・ペーパー類	使用するジェルのタイプに応じ用意
15	スパチュラ	カラージェル攪拌用（必要に応じて使用）
16	メタルプッシャー	ネイルケア時に使用（メーカーや形状は問わない）
17	キューティクルリムーバー	ネイルケア時に使用（メーカーや形状は問わない）
18	キューティクルニッパー	キューティクルニッパー
19	ネイルファイル	エメリーボード（爪の状態にあったグリットを使用）
20	ウッズスティック	ウッズスティック
21	シャイナー	爪にツヤをあたえる（必要に応じて使用）
22	バッファー(240G 前後)	ポリッシュを塗布する爪の準備に使用
23	スポンジファイル(100/180G)	ジェルを塗布する爪の準備（サンディング時）に使用
24	ガーゼ	ネイルケア用（メーカーや形状は問わない）
25	ダストブラシ	ダストを払うブラシ
26	トレー	ケース（用具を入れるため）
27	ブラシ立て	ジェル筆、ファイルスタンド
28	フィンガーボール	フィンガーボール（ウォーターケア時に使用）
29	ペーパータオル	ペーパータオル
30	アームレスト	アームレスト
31	作業エリア用タオル	白無地タオル
32	水	ネイルケアのお湯の温度調整用
33	お湯（水筒）	ウォーターケア用
34	ネイルアートの道具	各自ネイルアートで使用する道具・材料一式

※ 上記に記載のないもので、施術に必要と思われる物があればご準備下さい。

※持参した道具・材料については、大会前日に行われるオリエンテーションの際に確認しますので、競技で使用する道具・材料の一式を会場にお持ちください。

※前日のオリエンテーションの時に、第一課題のカラーリングで使用するジェルカラーの配布、第二課題で使用するネイルアート用チップの配布及び、ネイルアートの競技方法および提出方法（トレーニングハンドの取り扱い）などの説明を致します。配布したカラージェルの硬化やテクスチャー等の確認を行って頂きます。

※競技にふさわしくない、著しく有利になるとと思われる道具の使用を認めない場合があります。

※ジェルネイルランプ用に延長コードが必要と思われる方は各自でご用意下さい。

「選手が準備・持参するもの」

◎【重要】第4 5 回大会では施術するモデルは各自で手配をお願いします。

※配宿等については主催者側からあらためて連絡を行います。

◎課題1の前半と後半で使用する道具は、普段使用しているものを各自持参して下さい。

※ネイルケア、ネイルポリッシュ、ジェルネイル施術で使用する道具や材料は、各自でご用意下さい。

※後半のカラーリングでは、ネイルポリッシュによるカラーリング（マット赤）とジェルのベース・トップ及びそれらの施術に必要な材料と道具を各自持参してください。

【ジェルのカラーリングに使用するカラージェルについて】

※カラーリングで使用するカラージェルは、主催者側で用意致します。

ジェルカラーは、大会前日の選手下見（オリエンテーション）の日に発表し、選手が持参したジェルネイルランプで硬化状況やジェル製品のテクスチャー等をオリエンテーションの時間内に確認して頂きます。

※選手にご用意いただく道具・材料や機器などのメーカー等は問いません。

※選手持参一覧に記載がない材料などで必要な物は、各自で必要に応じてご用意下さい。

ネイルケア&カラーリングのモデルの爪の状態について

- ・モデルの爪や皮膚に疾患や炎症などがなく、ネイルケアやカラーリングができる爪と皮膚の状態であること。
 - ・ネイル製品などが何もついていない、ナチュラルネイルの状態とする。
 - ・何も塗布していない状態から始める。（ネイルグルー・リペアを除く）
 - ・爪の長さは、手の平側から見て1mm以上5mm程度までの爪の状態の方。
 - ・競技当日、爪の長さ形を整えられる長さがあり、甘皮の手入れができる状態、爪の表面が磨かれていない状態。（10日以上お手入れがされていない爪の状態の方。）
- （整爪、甘皮や爪表面の審査が難しいと判断した場合には、減点の対象となります。）

【モデルの爪にリペアや長さだしの処理が必要な場合】

- ・亀裂等の処理（リペア）や長さだしが必要な場合、全部で3本までとする。
- ・亀裂などの処理にネイルグルーを使用する場合、本数に制限はない。
- ・リペアや長さだしで使用する製品はジェル、アクリル、シルクラップであればいずれも可。
（ネイルチップでの長さだしは不可とし、使用した場合には減点対象となります）

◎課題 1、課題 2 で使用する道具、材料は、普段使用している道具・材料一式をご持参下さい。

※使用する道具、材料の形状やメーカー等は問いません。

※ジェルカラーは主催者側で用意します。

※ネイルチップ、トレーニングハンド、ネイルチップを貼る両面シールは主催者側で用意します。

※ネイルアートで使用するチップは、大会前日のオリエンテーション時に、当日使用するトレーニングハンドに合わせてチップのサイズ確認とトレーニングハンドへの装着などの確認を行っていただきます。

8 テーブルセッティングに関して

※競技開始前までに、全ての準備を終了すること。（入室可能な時間は、前日のオリエンテーション時にお伝え致します）

・競技開始前に、作業で使用する道具、材料をカバンから取り出した場合は減点とする。

※ジェルネイルランプの電源を競技前に確認すること。

（ジェルネイルランプの不具合がないかの確認、使用ジェルの硬化時間などは各自で管理してください。

万が一、ジェルネイルランプの不具合で競技に支障が出た場合でも、配慮は致しません）。

※使用する器具、材料はトレイの中にセッティングし作業中も衛生的に管理すること。

・ウェットステリライザーを必ずセッティングすること。

（ニッパー、プッシャー等をセッティング）

・使用する道具、材料は衛生的（消毒済みのもの）なものを使用すること。

・ジェルネイルランプのセッティング場所は作業テーブル内であれば自由、各自で管理をすること。

課題 1（ネイルケアとカラーリング）

●競技時間

7 5 分（前半：ネイルケア 3 0 分・《審査 10 分》・後半：カラーリング 4 5 分）

●競技内容

施術者とモデルの手指消毒後、ネイルケアからカラーリングまでを施す。

【競技手順】

前半：ネイルケア(3 0 分)

* 施術はウォーターケア（お湯を利用した）を利用したネイルケアをモデルの両手に施す。

① 消毒液を含ませたコットンを用いて施術者の手指、次にモデルの手指を消毒する。

・施術者、モデルそれぞれに別のコットンを使用する。

・手の甲、手の平、指間までしっかり行う。

② **エメリーボードを用いてフリーエッジの長さとしを整える。(ファイリング)**

・爪の形は自由。10本の長さ、形は揃える。

・ファイリングは、力を入れず爪に負担がかからない正しい方法で行う。

③ **ダストブラシを用いて、ダストを取り除く。**

④ **キューティクルリムーバーを塗布し、フィンガーボールに入れる。**

⑤ **メタルプッシャーを用いてキューティクルをプッシュアップする。**

・メタルプッシャーの形状に合わせた角度で、安全に使用する。

(キューティクルリムーバーや水を使用しながら行うこと。爪や皮膚を傷つけないように配慮する。)

⑥ **ガーゼとキューティクルニッパーを用いて不必要なルーススキン、ささくれを除去する。**

・キューティクルニッパーで爪や皮膚を傷つけないようにする。

・甘皮の役割を理解し、不必要な箇所を除去する。切りすぎないように注意する。

・使用するガーゼの大きさや形状は問わない。

⑦ **後半のカラーリングに合わせた爪の状態にする。**

・モデルの右手：ポリッシュでの施術が施せる状態

(バッファーを使用して、爪の凹凸を滑らかにする)

・モデルの左手：ジェルネイルの施術が施せる状態

(適切なファイルのグリットでサンディングを施す)

※サンディング不要のジェルを使用した場合でも、競技上のルールとして、モデルの爪に必要最低限のつや消し(サンディング)を行う。(爪や皮膚を傷つけないように注意する。)

※使用するバッファーやスポンジファイルのグリットは、爪の状態や施術内容に合わせたものを使用し、爪の状態によっては複数面使用しても良い。

⑧ **爪の表面やサイド、爪の裏面のダストをキレイに取り除く。**

⑨ **使用した器具/材料を全て片付け、カラーリングが施せる準備をする。**

(注意) ケア終了後、キューティクルオイルやクリーム等を塗布した行為があった場合には減点となります。

●チェックポイント

- ・衛生的に施術を行っている。
- ・器具、材料は必要なものが準備され、常に整理整頓された状態であり、安全に正しく使用している。
- ・フリーエッジの削りあとが滑らかで、削り残しやダストが残っていない状態である（フリーエッジ裏も含む）。
- ・ルーススキン、ささくれや甘皮の処理がきれいに適切にされていること。（切りすぎ、取り残しはないか）
- ・10本のフリーエッジの長さや形がバランス良く揃っていること。
- ・後半のカラーリングに合わせ爪の準備が適切にされていること。
- ・作業手順は問わないが、作業工程を全て時間内に終了すること。
- ・危険行為や出血などがある場合は減点とする
- ・ネイルケア前の状態とネイルケア後の状態に変化があり、ネイルケアの仕上がりが美しく整った状態であること

審査（約10分）

後半：カラーリング（45分）

カラーリングは、ネイルポリッシュ（マット赤）とジェルカラーを使用する。

・モデルの右手：ネイルポリッシュ（マット赤） / モデルの左手：ジェルカラー（主催者側で用意）

- ・施術の順序は問わないが、それぞれの製品の特徴をふまえた施術を行うこと。
- ・カラーはいずれも2度塗りとする。
- ・先端（エッジ）も塗布する。

- ① 爪の表面、フリーエッジの裏の油分、水分の除去をする。
 - ・カラーリングの施術内容に応じた製品を使用し、爪のクリーンを行なうこと。
- ② ベースを爪の表面とエッジ（爪の先端）に塗布する。
- ③ 1度目のカラーを塗布する。
- ④ 2度目のカラーを塗布する。
- ⑤ トップを爪の表面とエッジに塗布する。
- ⑥ ジェルネイルは未硬化ジェルのベタつきがない状態にする。
 - ・ジェルネイル施術において、カラーリング終了後にファイル類を使用することは不可とする。
（ネイルファイルを使用し爪やジェルを整えた場合には減点とする。）
 - ・仕上がり後、キューティクルオイルの塗布は不可とする。
 - ・未硬化ジェルが出ないタイプのジェル製品を使用した場合には、ふき取りを行わなくても良い。ただし、
ベタつきがないこと。

●チェックポイント

- ・衛生的に施術を行っていること。
- ・エッジの塗り残しがないこと。
- ・先端の厚みが均一であること。
- ・爪裏に製品が流れていないこと。
- ・キューティクルラインが空き過ぎず、滑らかであること。
- ・キューティクルライン際、爪先端、爪のサイドに製品の溜まりがないこと。
- ・サイドの塗り残しがないこと。
- ・表面やサイドに色むらや刷毛あと、ダスト、凹凸、液だまりなどがないこと。
- ・素材に合った均一なツヤがあること。
- ・皮膚にカラーやジェル製品がついていないこと。
- ・時間内にトップコート・トップジェルまで塗布できている。
- ・ジェルカラーリングは未硬化ジェルがない状態で終了する。
- ・カラーリング終了後、ネイルファイルを使用しないこと。
- ・左右で使用する素材に違いはあるが、10本の仕上がりがほぼ同じような仕上がりになっていること。

●注意事項

- ① 競技開始時にモデルの事前審査を行う為、事前審査中にモデルの手や爪に触らないこと。
- ② モデルに出血が生じた場合は放置せず、近くにいる競技委員の指示に従うこと。
手指を消毒してから施術を再開すること。出血の状況によっては、競技を継続出来ない可能性もありますので道具の取り扱いに注意してください。
- ③ 器具、材料を落とした場合は放置せず、拾い、破棄する。破棄できないものは器具用の消毒液で消毒してからセッティング、使用すること。
- ④ 時間内にすべての作業が終了されていない場合は減点となる。
- ⑤ 審査中、モデルの爪や手に触れないこと。
- ⑦ ジェルネイルはカラーリング（トップジェル硬化後）終了後、はみ出したジェル等をネイルファイルで削らないこと。（ネイルファイルで削り整えた場合には、減点となります。）

課題2（ネイルアート）

ネイルアートの基本的なテクニックを用いて、テーマにあった作品をネイルチップに施す。

テーマ： 地球と自然（Earth & Nature） ネイルチップ：5本

●競技時間 80分

●競技内容

ネイルチップ（５本）にアートを施す。（アートチップのサイズは１１ページを参考にしてください。）

【競技手順】

- ① デザインチップをチップスタンドに装着し準備する
- ② チップに好みのカラー等を塗布し、テーマに合ったデザインを施す
- ③ ツヤを出して終了とする（トップコートやトップジェルなどを使用）

＊アートに使用する材料は、特にメーカーは問わないが、４つ以上の異なる材料や素材を使用すること。

- ・ネイルチップの長さや形は、時間内であれば変更可能です。
- ・ネイルアートで使用するチップは、前日のオリエンテーションの時間に、競技課題提出時に装着するトレーニングハンドに合わせて各自チップを選びとサイズ合わせを行っていただきます。
- ・ネイルチップに付けられる範囲の大きさであれば、立体的なデザインも時間内に作成したものであれば装飾しても良いです。

【ネイルアートで使用する材料や素材の例】

- ・ジェルネイル製品・ネイルポリッシュ製品
- ・アートを効果的に表現する製品例
アクリル絵の具・ストーン類・ラメ類・ホロ・フレーク・ラインテープ・ホイル類・パウダー類
立体的なデザインができるジェル等・シェル類
- ・その他ネイルアート製品として市販されている製品であれば使用可能

※アクリルのスカルプチュア製品については使用できません。

※見本（メモ、デッサン画、事前に作成したチップ等）を見ながらの作業はカンニング行為とみなします。

※大会当日に使用するチップは、競技前日の下見（オリエンテーション）の際にお渡しします。

※競技終了後、競技会場側で用意したトレーニングハンドにチップを装着した状態で作品の提出とします。

※競技方法や作品の提出方法などは、競技前日（オリエンテーション）の時に伝え致します。

●注意事項

- ① 衛生的に作業を行うこと。
- ② 使用するチップの加工（長さ形を整えるなど）は、競技時間内に行う。
- ③ チップのファイリングスタイルは自由。
- ④ ネイルアートは、ポリッシュ、ジェル、アクリル絵の具などを使用する。形状や使用するメーカーは問わない。
- ⑤ 課題のテーマに沿ってアートを施す。

- ⑥ ネイルアートの装飾品は効果的に使用することは可（ラメ・ラインストーン・スタッズ・ミラーパウダー・ホイルなどのネイルアート用の素材）。
- ⑦ 市販されているネイルシールや既にデザインされた装飾パーツ類の使用は不可。
- ⑧ 著作権など他者の権利を侵害していない作品とする。（オリジナル作品とする）
- ⑨ 5本全体でテーマを表現するものとする。

●チェックポイント

- ・テーマに合ったデザインか
- ・時間内に終了しているか
- ・異なる4種類以上の材料や素材を使用しているか
- ・独創的なオリジナル作品か
- ・全体のアートのバランスは適切であるか
- ・デザインテクニックに優れているか（色彩バランスとペイントやグラデーションなどのテクニック）
- ・効果的にアート製品を使用できているか
- ・繊細な仕上がりか
- ・爪につけられるアート作品
- ・立体的なパーツをその場で作成し爪に装着する事は可
- ・効果的にストーン、ホログラム、ラメ、ミラー、パウダーなどのネイルアート用品が使用が使われているか
※但し、デザインが出来上がったパーツ及びネイルシールなどの既成の製品の使用は不可
- ・トップコートやトップジェルなどのコーティングで仕上げる（ツヤあり・ツヤなしいずれも可）
- ・ネイルアートに必要な材料や道具の管理と使用方法を理解し衛生的に作業がされているか

《参考》

※ アートチップのサイズの大きさの目安です

- ・親指 : 長さ: 約 31.5mm ・ 幅: 約 11mm
- ・人差し指 : 長さ: 約 30mm ・ 幅: 約 10mm
- ・中指 : 長さ: 約 30mm ・ 幅: 約 10mm
- ・薬指 : 長さ: 約 30mm ・ 幅: 約 9.5mm
- ・小指 : 長さ: 約 26mm ・ 幅: 約 8mm